

特集

こころもからだも健康に

男女の違いを踏まえた性差医療



男性と女性の体の構造や機能はもともと異なるもの。さらに文化的・社会的な背景の違いが、健康に大きな影響を及ぼしています。

女性は骨粗しょう症になりやすい、と耳にしたことはありませんか？ほかに、痛風は男性に多く、関節リウマチは女性に多いなど、病気によって、男女で発症する割合などに大きな違いが現れるものがあるということが、厚生労働省の調査でも明らかになってきています(表1参照)。

しかし、病気や症状において、男女でどのような差が見られるかについては、まだ、十分には分かっています。そのため、原因不明ということだけでなく、病院を受診したり、病名が分かるまでに長い時間がかかり、治療の好機を逸してしまったりする例も少なくないのです。

性差医療とは、このような男女の違いを明らかにし、病気の原因を探り、予防と治療に役立てることを目的とした医療です。



ご存じですか？
性差医療

性差に着目した研究が始まったのは、1990年代のアメリカ。それまで、男性を対象とした臨床研究の結果が医療の基準でした。そこには、女性が妊娠した場合の胎児への影響などを考慮し、女性を研究の対象から外したという背景があるともいわれています。その結果、女性にも男性と同じ診断基準や治療方法が当てはめられてきたのです。しかし、昨今、このような状態が疑問視され、性差医療の研究が進むに従って、病気の発症率や薬剤の効果などにも男女差があることが分かってきたのです。

性差医療を考える際には、男女の生理的・生物学的な体の違いだけでなく、「男は仕事、女は家庭」という文化的・社会的役割から生まれるライフスタイルの違いもかかわってきます。例えば、男性は、長時間労働や過度の飲酒・喫煙の機会が多く、それが、生活習慣病にかかりやすい原因にもなっています。一方、女性の場合には、更年期のホルモンの急激な変化に加え、親の介護や子育て、仕事の悩みなどが一時期に重なりやすく、こうした負荷が心身のバランスを崩し、健康状態に影響を及ぼすことが多いのです。



性差医療が
生まれた背景

「女性外来」では、専門的な知識を持った女性医師が担当し、初診に十分な時間をかけるというのが大きな特徴です。また、カウンセリングを重視し、その人の生活形態や悩み事なども聞きながら診療を行うことが重要とされています。これは個人に合わせた、いわゆるオーダーメイド医療です。このことから、近年、「女性外来」の受診を希望する人が増えています。また、「男性外来」も開設されるなど、性差に基づいた総合医療の社会的ニーズが高まっています。

浦安市は、2005年



うらやす

P Life

男女共同参画ニュース

Personality(個性・人格)を尊重する
Positive(積極的)な生活に
Plusとなる情報紙

Vol.2
2009.3

<http://www.city.urayasu.chiba.jp>

発行日 2009年3月
発行 浦安市市長公室企画政策課人権・男女共同参画班
〒279-8501 千葉県浦安市猫実1丁目1番1号
TEL 047-351-1111(内線1050) FAX 047-353-1145
Mail kikaku@city.urayasu.lg.jp

次号(09年9月予定) | 特集「ドメスティック・バイオレンス(DV)」
誰もが望む暴力のない社会。身近なところから、「DV」や「デートDV」を考えます。

表1

女性に多い病気、男性に多い病気

男女でかかりやすい病気に違いがあるといわれています。例えば・・・

女性に多い病気	男性に多い病気
男性患者数を1とした場合の女性患者数の比率	女性患者数を1とした場合の男性患者数の比率
骨粗しょう症 13.5	痛風 9.5
甲状腺の病気 4.5	胃・十二指腸かいよう 1.7
関節リウマチ 3.3	糖尿病 1.4
自律神経失調症 3.2	肝炎・肝硬変 1.3
貧血 2.9	狭心症・心筋梗塞 1.3
認知症 2.2	腎臓の病気 1.2
白内障 2.0	



※厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査・通院者の総傷病数」より作成。



日本での取り組み
女性外来の誕生

日本で性差医療が、「女性外来」という形で具体的に組み込まれたのは2001年。その実践の場として、同年5月に初の「女性外来」が鹿児島大学医学部付属病院で開設されました。9月には都道府県では初めて、千葉県立東金病院に設置されています。

「女性外来」では、専門的な知識を持った女性医師が担当し、初診に十分な時間をかけるというのが大きな特徴です。また、カウンセリングを重視し、その人の生活形態や悩み事なども聞きながら診療を行うことが重要とされています。これは個人に合わせた、いわゆるオーダーメイド医療です。このことから、近年、「女性外来」の受診を希望する人が増えています。また、「男性外来」も開設されるなど、性差に基づいた総合医療の社会的ニーズが高まっています。

浦安市は、2005年

に国が「男女共同参画基本計画(第2次)」を策定したことを受け、07年に「改定うらやす男女共同参画プラン」を策定し、「男女の人権尊重・擁護と健康支援の促進」を目標の一つに掲げて、性差医療に関する情報の収集と提供を行っています。

女性も男性も、心身ともに健やかに過ごしていくためには、性差に応じた医療に目を向け、それぞれの違いを知るとともに、互いを尊重していくことが大切でしょう。

参考文献

- 「イブに生まれて、こんなに違う女の医療と男の医療」(リアン・レガト著 下村満子監訳/健学社)
- 「行き場に悩むあなたの女性外来」(天野恵子編著/亜紀書房)
- 「がんでは女の2倍死ぬ 性差医学への招待」(田中貴昌富久子著/朝日新聞出版)
- 「はじめての女性外来」(対馬ルリ子著/PHPエール新書) ほか

interview

心身両面から女性の健康を
サポートする女性外来
日本における性差医療のパイオニア

天野恵子 先生

女性外来の誕生と
その役割

循環器内科医である天野先生は、長年の診療現場での経験と、ご自身が重い更年期障害に悩まされたこともあって、米国で90年代にすでに始まっていた性差医療に関心を寄せた。病気には男女の性差があり、それに目を向けた女性のため

ていますが、今の日本社会では、さまざまな面で不都合が起きています。それを医療分野で研究していくのが性差医療であり、その実践の場が女性外来です。例えば女性がハードな働き方をしていると、まず生理不順になり、体調を崩さずさまざまな症状を訴える。少子化の背景にはこうした問題もあり、男女の違いを踏まえて考えていく必要があると思います」

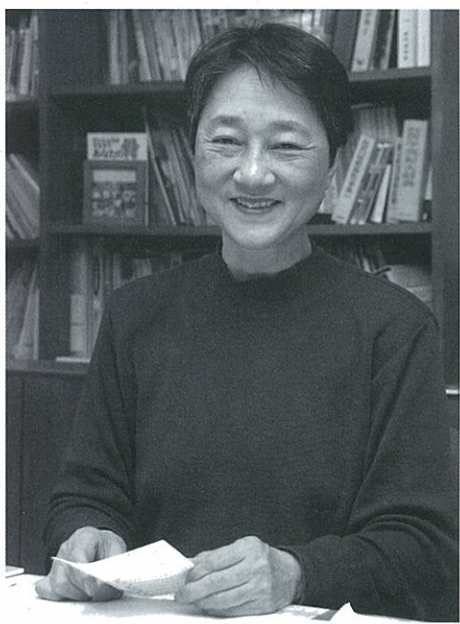
女性外来の実態と
目指すもの

女性外来は内科医中心のものが多く、複数の科が連携協力するもの、働く女性にターゲットを置くもの、地域特性を生かしたものなど、その展開はさまざまです。「2006年に県内10カ所の女性外来で調査した結果、患者さんの7割はこれまで同じ症状でほかの医療機関にかかっていた。私たちは「ここで、なんとかしてあげなくては」という思いで治療に当たっています。西洋医学で限界があるのなら、数千年にわたって使われ続けてきた漢方も積極的に使います。女性外来は「人生相談外来」でもあります。要は人間が好きで、おせっかい」と笑う天野先生は、病気で悩む人たちにとって本当に心強い味方だ。

「女性の社会進出が盛んになり、男女共同参画社会の実現が叫ばれることになる。女性外来が誕生し、さまざまな病気を誘発するケースも多い。女性が人生をよりよく生

男女間では骨の構造から痛みの感覚、薬の代謝などあらゆる面で違いがあるにもかかわらず、これまでその違いに目を向けた医療が十分には行われていなかった。さらに、男性中心に整えられた職場環境は、女性にとって時に苛酷なものとなり、さまざまな病気を誘発するケースも多い。女性が人生をよりよく生

妊娠・出産・月経・閉経など生理的要因や、家庭・職場での葛藤から生じる女性の多彩な症状に対し、実態を明らかにし、適切な医療を進めていく女性外来。「最終的には、性差や個性を大切にし、理解し、尊重する医学・医療を確立し、そして定着させることが、私の目指すゴールです」

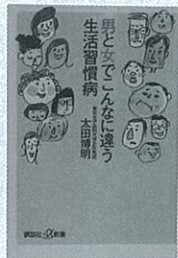


profile

あまの・けいこ ●1967年東京大学医学部卒業。東京大学保健センター講師、東京水産大学保健管理センター教授を経て、現在千葉県立東金病院副院長、千葉県衛生研究所長。性差医療の第一人者として、全国でのセミナー、講演を多数行っている。

BOOK GUIDE

男と女でこんなに違う生活習慣病



著者：太田博明
発行元：講談社

最新の研究から分かってきた、病気の発症のメカニズムや病状、治療法における男女の違いについて、生活習慣病を例に分かりやすく解説しています。

イブに生まれて
こんなに違う女の医療と男の医療



著者：マリアン・レガト(下村満子監訳)
発行元：健学社

性差医療の分野を切り開いた著者の翻訳本。男女の生理的な違い、ホルモンの及ぼす影響などから、医療における男女の性差を具体的に示しています。

面白テクニク 性差医療編 女性医師の割合

医療施設に従事する女性医師の割合(%)

年	昭和57年	昭和61年	平成2年	平成6年	平成10年	平成14年	平成18年
割合(%)	10.0	10.4	11.3	12.5	13.9	15.6	17.2

平成18年の女性医師の年齢の構成割合(%)

年齢	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
割合(%)	20.6	34.6	21.6	12.2	4.6	6.5

備考：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より作成。

更年期は女性だけ?



イラスト/しらみずさだこ

女性プラザ 利用案内

浦安市では「改定うらやす男女共同参画プラン」のもと、女性も男性も互いを認め合い、自分らしく、豊かに生きられるま

開館/月~金 8時30分~17時
(土日祝休み)
住所/浦安市猫美1-1-2
浦安市文化会館2F
TEL/047-351-1111
(内線10550)
FAX/047-353-1145
urayasu-womensp@com.home.ne.jp

■図書貸し出し
*1人1回3冊まで、2週間貸し出ししていただきます。
■困っていること、悩みごとがあったら...
「女性のための相談」(予約制)
第1~4月・火・木曜日(10時~16時)
(1~3回は14時30分~20時)
「女性のための法律相談」(予約制)月2回
*詳細・予約は女性プラザまでお問い合わせください。

編集後記

今回のインタビューでは、性差医療の第一線でご活躍されている天野先生から直接お話を伺い、多くのことを学びました。目からウロコの情報もあり、これからの健康生活に生かしたいものです。